



西台中だより 2024 11月

板橋区立西台中学校
2024.11.29発行
校長 内田 善人

本質を見極めよう「事実をよく、よく、よく見る」

「学校に着てきてもよいパーカーの色は白とします。このことについて、どう思いますか。隣の人と意見交換をしてください。」11月5日の全校朝会はこの風に話をはじめました。

11月5日（火）全校朝礼 校長講話

ルールメイキングについて、考えよう

生徒「白は汚れが目立つので黒ではダメなんですか。」

校長「いえ、黒は不潔なので清潔な白にしてください。」

生徒「白だと洗濯が大変なのですが・・・」

校長「毎日洗濯してください。」

生徒「えー！」

学校生活の中にはルールがあります。集団生活をする場なので当然のことですが、学校においては皆さんが、

「**社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える**」ことを大切にしています。自己の幸福追求はもちろんですが、集団生活の中のルールということに関しては「**社会に受け入れられる自己実現**」をより大切に考えるべきだと思います。

ところで、生徒手帳には「学校のきまり」が記されていますが、その中にはこのような記述があります。

「**その場にふさわしい服装・着こなしをして、自ら考え選択しよう。**」社会に受け入れられる自己実現に向けて、自ら考え選択するという力はとても大切なことです。さらに服装については「**気候や学校行事などから自身で判断し、きちんとした服装を心掛けよう。**」「**華美なもの、高価なものは避け、学習活動や集団生活に影響のないものを選ぼう。**」とあります。

冒頭で私が「清潔な白のパーカーに限ります。」と言ったのは本意ではなく、きまりについて自分事として考えて欲しいからでした。自分が生活する集団のルールについて改めて見直し、何が必要で何が不要なのか、そしてそれを自分たちで決めることによって集団生活のルールを大切にすることをしたいと思っています。

ちなみにアンケートFormsの中には数名の子から「なぜ白いパーカーでなくてはいけないのでしょうか？」という質問がありました。朝礼では「そんなルールはありませんよ。」と言ったのですが、最初の印象が強く残ってしまったのだと思います。間違えて伝わっていたら、私の伝える力が不足していたためです。申し訳ありません！

↓朝礼で使用したプレゼンテーション

生徒（生活）指導とは

社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、
自発的・主体的に成長や発達する過程を
支える教育活動

生徒指導の目的

- 一人一人の個性の発見と、よき可能性の伸長
- 社会的資質・能力の発達
- 自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現

を支える

学校生活のきまり 1. ③より

その場にふさわしい服装・着こなしをして、
自ら考え選択しよう

Ⅲ 服装・頭髪・持ち物等 ※指定のものはありません
1. 服装

気候や学校行事などから自身で判断し、
きちんとした服装を心掛けよう。

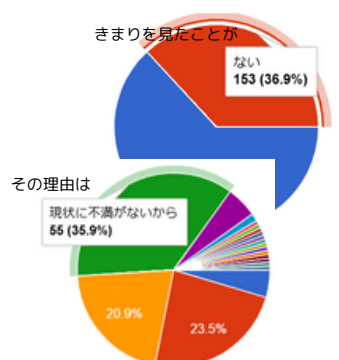
華美なもの高価なものは避け、
学習活動や集団生活に影響のないもの

自己指導能力を身に付けよう

「何をしたいのか」、「何をすべきか」、
主体的に問題や課題を発見し、
自己の目標を選択・設定して、
目標の達成のため、自発的、自律的、
かつ、他者の主体性を尊重しながら、
自らの行動を決断し、実行する力

「ルールメイキング」については以前から取り組んでいたことでした。生徒会本部が中心になって、校長室での定例会議等を重ねて、「髪の毛を結ぶことについて」「半袖体操着シャツの裾を入れることについて」「朝読書でマンガを読むことについて」など様々なルールの在り方について考え、見直してきた経緯があります。

しかし、Formsによるアンケートによると**36.9%の人はルールそのものを「見たことがない」と答えています。**ルールを見たことのない人の理由で一番多かったのは「現状に不満がないから」の55名、次いで「興味がないから」36名、「存在を知らなかったから」34名です。**みなさんの自己指導能力は、育っているのでしょうか。**



中央委員会で学校のきまりについて話し合いました

11月18日 専門委員会後に中央委員会を開催し、学校のきまりについて改めて確認し、考えました。中央委員会は生徒総会に次ぐ生徒会の議決機関で、生徒会本部役員、各委員会委員長、各学年学級委員が集まって議題について話し合います。今回は「靴下の色について」と「整髪料の使用について」内容を見直しました。今回話し合った内容については学校ホームページに近日中にアップする予定です。



←中央委員会の様子

生徒手帳に書かれている
きまりについて、
みんなで検討しています→



みんなの意見から ～校長Formsアンケートの回答～

「きまり」の中で改善した方がよいところがあれば、その理由と代案を記入してください。

- ・トイレの鏡の前に人が集まってしまい、手が洗にくいので使いやすくしてほしいです。
- ・9ページ第22条で専門委員会を小委員会とよんでいるが、どれも立派な委員会なのになぜ「小」と呼ぶのか
- ・「肩に髪の毛がついたら結ぶ」というのを守っていない人がいるから言ってほしい。
- ・給食で並ぶときに廊下で遊んでる人がいるから、給食で並ぶときに廊下で遊ぶの禁止と書いたほうが良いと思います。
- ・整髪料の使用 将来髪の毛のセットをするようになると思うから今から練習したい。
- ・きまりに書いてある「中学生としてふさわしい」という記述が曖昧で分かりづらいので無くしてほしい。
- ・今の決まりがとても気に入っています！！！！
- ・今のままでいいと思います 西台中のきまりは1つ1つ設定されていて分かりやすいし、守れそうなものなのでとても良いと思います
- ・靴下の色 布面積の多いパーカーの色の指定はないのになぜ靴下の色を規制する必要があるのか。

西台中の服装のきまりについて、あなたの意見を聞かせてください。

今のままでよい (89. 4%)

- ・運動部の人は、着替える時間で時間が削れてしまうのはもったいないと思うし、更衣室を増やす必要がでてくと思うから。
- ・大事な事があるときはしっかりとした服装がいたため標準服はあった方が良くと思うし、それ以外のときは自分で考えて選択すればいいから、今のままでいいと思った。
- ・テストの際には標準服を着るべきだけれど、通常授業の際には体育などがあったりするから各自で判断して選択が良いと思う。
- ・自分で判断する能力が身につくと思ったから。 ・このルールでみんなが心地よく生活しているから。
- ・自分で決めて大事なときに標準服を着ればよいと思う
- ・各自で判断する力は将来のためにも付けておいた方がいいから今のままが一番良いと思った。
- ・行事のときなど正装の必要があるときとそうでないときの違いの基準はすでに判断できるだけの能力は備わっているから。
- ・体育のときはジャージ、制服を着ないといけなるときは制服と判断できるから。
- ・気候問題で体調管理が難しい時代になっていることと、自分から意識することが大事だと思います。
- ・今のようないきさつがちょうどよく心地よいから ・派手な服を着ている人は少数なのでその人達が直せば良い
- ・標準服を毎日着るのはお硬いイメージがある かとって標準服が無いと、行事のときにはイメージが悪いから
- ・自分の気分で決められるから ・ずっと制服だと生徒も動きづらいし、今のままが一番いいと思うから。
- ・個人的には、今のまま一人ひとりの自由性を重視して生徒自身が好きなようにして過ごせる校風が好きです。それに、人によって寒さや暑さの感じ方は違うので、各自で判断した方が健康面の心配も少ないと思う。
- ・全員決まりを守っているから
- ・いつも制服だと大変だから。動きづらいから。服装のきまりがなかったほうが自由でいい。
- ・今のままでも規則を守った状態で着崩しができて満足だから。
- ・ジャージ登校は楽でいいと思う。でも期末や中間テスト、何らかの行事などの特別なことであったら標準服と、「基本的に標準服」という決まりになると人によって暑かったり寒かったりするから

その他の意見 (①標準服を着るようにした方がよい3.9% ②標準服をなくした方がよい3.6%)

- ①標準服をなくすと、学生っぽくないし、大人になったらコスプレという形でしか着れないので学生だからできる事はいっぱいやっていったらいいと思いました。
- ①ジャージ登校だと制服をせっかく買ったのに着用しない人のほうが多くて制服を買う値段が無駄になっていると思いいつそのこと標準服をなくすのはありだと思った。だけど、標準服をなくしてしまうと写真を撮る時など見栄えが悪いというのはあるし、学校としてそれはどうかなと思ったので基本的に制服で来るように指定したほうが良いと思いました。
- ②みんな同じ服を着ているためなくした際に探すのが大変なことと、その時に合わせ服装を考えるのならば制服よりも私服のほうがより考えることができ、選択の視野が広がると思ったから。

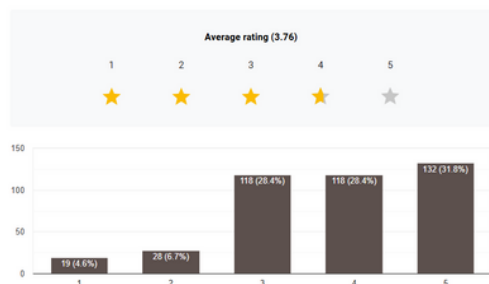
自由記述らん から ～校長Formsアンケートの回答～

- ・校則を守らない人が多かったから、とても良いテーマだったと思います。
- ・次回の講演期待しております。がんばってください。今回は、ありがとうございました。
- ・次回の講話も楽しみにしています ・制服に慣れにくい・・・
- ・今後もスライドなどで説明があると嬉しいです、あと、もうちょい字をデカく映してくださると嬉しいです
- ・髪は染めちゃだめ ・パーカーとかを着ることができて良かった。
- ・今日の朝礼で話を聞いて、もう一度しっかり西台中の学校のきまりを読み直してみようと思った。生徒全員がこのきまりを守ればもっと良い学校になるのではないかと思います。
- ・ルールで縛られた生活ばかり送らせるのも人間形成上影響があるかもしれないためきまり自体をなくすのもありだと思っています。もちろん周りに迷惑をかけたら問題になるので、そうならないための工夫をしなければいけないため、そう簡単には無理なのはわかりますが、全体的に納得できないようなきまりが多い印象だったので、何かしらを大きく変えたほうが良いのではないかとはい思いました。
- ・規則は守ってこそという考えが大きかったため、西台中でのルールメイキングはすごく新鮮なものでした。もちろん基本的な規則を守るのも大切ですが、自分で考えていくことも大切にしていきたいです。
- ・服装の色などは変えたりしないほうが良いと思います。変えてしまうと不満は溜まり学校の雰囲気が悪くなってしまふから変えないでほしいです。
- ・学校の決まりを見直すことが出来ました。 ・髪型を自由にしてほしい
- ・校則についてなど自分の意見をもつことが大切だと思いました
- ・一旦決まりを見直して守れなかったら少しきつくしたほうが良いと思います
- ・自分は今まで受動的であり、この学校が掲げる「主体的」ではなかったと気付かされた。また、今のルールを深く考えず、「上が、昔の人たちが考えたから」というだけで従う、というのは考えなしだったと思う。これからは、現代では適切ではないルールや規則にあった場合、積極的に代替案を出し、「古きを温めて新しきを知る」を実践しようと思う。
- ・ルールを守らない人にだけルールを厳しくする ・髪が肩についたら結ぶルールをなくすべき
- ・パーカーの色はなんでも良いと思いました ・服装より時間とかに厳しくしてほしい
- ・めっちゃおもしろかったでーす！！眠気がなくなった
- ・今回の校長先生のお話を聞いて、学校の校則のことを読んでも、覚えていない事があったから、もう一度よく読もうと思った。
- ・ほんとに白パーカーしかだめだと思って、もうパーカーを買ったけどそれが白色じゃなかった気がするから「新しいのかわないとだめかぁ」と思ってしまってそれで勘違いして白パーカーを買ってしまう人がいるかもだからあらかじめ言っといてほしい。でも、話のたとえ的にはわかりやすかったからこういうのは続けてほしい。
- ・このままが一番いい!! ・パーカー、セーターの指定をしてほしい。
- ・いつもいいお話をありがとうございます。これからも楽しみにしています
- ・今の校長先生の話スライド使ったり現代社会を具体的に説明してくれて共感しやすいし面白いです。



たくさんのご意見ありがとうございました。ここに掲載できなかった意見も、すべて読んで受け止めています。

今日の朝礼講話について
415 件の回答



←学校だより感想Formsをつくりました
よろしければ感想をお聞かせくだ
さい。

12月の行事予定

- 12月 2日(月) 全校朝礼 表彰
3日(火)～10日(火) 三者面談期間
9日(月) 生徒会朝礼
21日(土) 土曜授業プラン
24日(火) 学年集会 大掃除
25日(水) 終業式
26日(木)～1月7日(火) 冬休み
1月 8日(水) 始業式 激励会

生徒の活躍

ふれあいキッズパークボランティア参加

() () ()
() () ()

令和6年度板橋区青少年表彰

(高島平ボランティアワークショップ)

() ()

東京都中学校新人体重別柔道選手権大会

73kg級 敢闘賞 ()



西台中学校HP
「学校日記」

こちらもぜひ↑
ご覧ください

さん、こんにちは！

10月31日（木）6校時 7年生 総合的な学習の時間に、日本盲導犬協会のさんとさん、盲導犬ユーザーのさんをお招きし、盲導犬や視覚障害について知識を深める授業を行いました。（この授業は第17、19代PTA会長のさんのご紹介で実現しました。）

さんは相棒の盲導犬シャルル（ラブラドルレトリバー3歳♂）とともに生活しています。さんの視力は左目のみで、五円玉の穴程度の視野しかありません。幼い頃から活発に活動し、視力を他の感覚でカバーする力を磨いていらしたので、慣れた環境では私たちよりも早く動くことができ、傍目には健常者とわからないくらいです。しかし、初めての場所や暗闇、突然の対応はやはり難しいので訓練されたシャルルがその手助けをしてくれているのです。

さんはかつて教員を目指していたこともあり「今後も西台中学校に関わりたい。」と言ってくださいました。吹奏楽部の指導経験もあるトランペット奏者ということで、ウィンドアンサンブル部の指導補助員として学校に来ていただくことにしました。校内でさんとシャルルを見かけたら、ぜひ気軽に声をかけてみてください。

盲導犬は身体障害者補助犬法によってどこにでも入れると定められているにもかかわらず、実際さんの生活では月に80件も入店を断られることがあったそうです。日本に900頭もない盲導犬について、私たちもよく知って、誰にとっても安心して住みやすい世の中にしていければと思います。



↑ さんとシャルル
← 体育館で補助の実演をする様子

インクルーシブ教育ってなに？

みなさんは「インクルーシブ教育」という言葉を聞いたことがありますか？これは、どんな背景や特性をもつ人でも、同じ学校やクラスで学び、一緒に成長していく教育のことです。「インクルーシブ」とは、「包み込む」という意味の言葉です。この考え方では、障がいがある人も、ない人も、お互いに助け合いながら学ぶ環境を大切にします。

たとえば、クラスにいる友だちの中には、文字を読むのが苦手な人や、音や光に敏感な人がいるかもしれません。インクルーシブ教育では、その人にとって学びやすい工夫をみんなで考えたり、助けたりすることを大切にしています。もちろん、助けるだけでなく、みんなもそこから新しい視点や考え方を学ぶことができます。

この考え方の良いところは、「違いがあってもみんなで一緒に学べること」です。それぞれの得意なことや苦手なことを認め合いながら、より良い学校生活をつくっていきましょう！

違いを理解し、サポートし合う姿勢が、みんなが安心して自分らしくいられる学校をつくる第一歩です。

盲導犬ユーザーに出会ったら

盲導犬ではなく、ユーザーにあいさつをしてくれるとうれしい！
気軽に声をかけてね。



これからユーザーさんに出会ったら、どうしたら良いのかな？



盲導犬ユーザーへの声かけのポイント！

① 声のかけ方

「盲導犬」「白杖」など、本人の特徴を加えて声をかけられると Good！



② お手伝いの仕方

誘導などお手伝いをお願いがあったときは、どのようにしたらよいか、よく聞いてみよう。



③ さいごに

最後には、自分がその場所でお別れすることが伝わるように、あいさつも忘れずに！

